

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月10日

上場会社名 北陸電気工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6989 URL <http://www.hdk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 津田信治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 野村 哲

TEL 076-467-1111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	16,792	△33.1	△118	—	△218	—	△326	—
21年3月期第2四半期	25,083	—	1,027	—	1,144	—	467	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△4.01	—
21年3月期第2四半期	5.46	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	34,782	9,589	24.5	104.82
21年3月期	33,245	9,965	26.6	108.74

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 8,526百万円 21年3月期 8,847百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	△4.6	500	—	250	—	150	—	1.84

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	92,500,996株	21年3月期	92,500,996株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	11,156,516株	21年3月期	11,136,046株
-----------	-------------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	81,355,288株	21年3月期第2四半期	85,578,247株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページをご参照ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、中国が持ち直しに向かったものの、米国、欧州は景気低迷が続き、わが国も、雇用及び経営環境の悪化を背景に、個人消費、設備投資が低迷しました。

エレクトロニクス市場におきましては、在庫調整の解消が進み、デジタルAV機器等の需要も回復してきたことから、電子部品受注は数量的には増加基調となりましたが、販売価格の下落と円高が進んだことにより、金額水準としては前年同期を大きく下回りました。

こうした状況のなかで、当社グループは、固定費を削減し、生産性の向上を推し進めましたが、受注水準低下の影響を補うには至らず、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高16,792百万円（前年同期比△33.1%）、営業損失118百万円（前年同期は営業利益1,027百万円）、経常損失218百万円（前年同期は経常利益1,144百万円）、四半期純損失326百万円（前年同期は四半期純利益467百万円）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、受取手形及び売掛金の増加を主因に1,537百万円増加しました。

また負債は、支払手形及び買掛金が増加したことを主因に1,913百万円増加しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金においては、四半期純損失により326百万円減少し、配当により244百万円減少しましたが、評価・換算差額等においては、株式相場の回復等により、その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定は、それぞれ220百万円及び45百万円良化しました。その結果、純資産合計は前連結会計年度末に比べ、376百万円の減少となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純損失が154百万円（前年同期は663百万円の純利益）となりましたが、主に設備投資、投資有価証券の取得及び自己株式の買付による支出が前第2四半期連結累計期間に比較し減少したため、前第2四半期連結会計期間末に比べ1,243百万円増加し、4,860百万円（前年同期比+34.4%）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,283百万円（同△17.7%）となりました。これは、税金等調整前四半期純損失が154百万円（前年同期は663百万円の純利益）となり、売上債権の増加額は1,372百万円（同+324.2%）となりましたが、減価償却費803百万円（同△13.5%）に加え仕入債務が2,047百万円の増加額（同+2,796.2%）となったことなどによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、27百万円（同△98.0%）となりました。これは主に、設備投資による支出は277百万円（同△73.5%）となり、投資有価証券の取得による支出が22百万円（同△95.9%）となりましたが、子会社の清算による収入76百万円（前年同期はなし）などがあったことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、221百万円（同△81.5%）となりました。これは、配当金の支払が244百万円（同△6.8%）ありましたが、自己株式の取得は3百万円（同△99.5%）にとどまり、社債及び借入金は148百万円の純増（前年同期は159百万円の純減）となったことなどによります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

電子部品需要につきましては、足元では回復基調となっておりますが、価格競争の激化や円高など収益環境としましては懸念材料もあり、依然として先行きは不透明であります。

このような状況から、通期の業績につきましては、平成21年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、主力のモジュール製品事業におけるグローバル展開と競争力の強化を図るため、平成21年9月29日開催の当社取締役会において、㈱住友金属マイクロデバイスと資本・業務提携を行うことを決議しております。これによる当四半期連結累計期間及び当連結会計年度に与える影響は軽微であります。

また、為替相場につきましては、90円/米ドルを想定しております。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①有形固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産の減価償却費は、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

②税金費用の計算

税金費用については、第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

また、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,104	5,185
受取手形及び売掛金	6,198	4,791
商品及び製品	1,052	751
仕掛品	3,167	3,442
原材料及び貯蔵品	556	629
繰延税金資産	505	505
その他	326	476
貸倒引当金	△39	△17
流動資産合計	17,872	15,765
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,457	3,557
機械装置及び運搬具（純額）	4,776	5,225
土地	3,407	3,478
その他（純額）	261	334
有形固定資産合計	11,903	12,594
無形固定資産	153	108
投資その他の資産		
投資有価証券	2,055	1,907
繰延税金資産	2,072	2,182
その他	790	750
貸倒引当金	△64	△62
投資その他の資産合計	4,853	4,776
固定資産合計	16,910	17,480
資産合計	34,782	33,245

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,457	5,418
1年内償還予定の社債	1,000	1,140
短期借入金	2,886	4,719
未払法人税等	118	86
繰延税金負債	1	1
賞与引当金	249	243
その他	897	1,190
流動負債合計	12,610	12,799
固定負債		
社債	50	50
長期借入金	8,121	6,000
繰延税金負債	470	466
退職給付引当金	3,017	2,973
その他	922	990
固定負債合計	12,582	10,480
負債合計	25,193	23,279
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,200	5,200
資本剰余金	5,719	5,719
利益剰余金	91	661
自己株式	△2,033	△2,029
株主資本合計	8,977	9,551
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△148	△369
繰延ヘッジ損益	△39	△26
土地再評価差額金	607	607
為替換算調整勘定	△871	△916
評価・換算差額等合計	△451	△704
少数株主持分	1,063	1,118
純資産合計	9,589	9,965
負債純資産合計	34,782	33,245

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	25,083	16,792
売上原価	21,423	14,912
売上総利益	3,660	1,879
販売費及び一般管理費	2,632	1,997
営業利益又は営業損失(△)	1,027	△118
営業外収益		
受取利息	48	31
受取配当金	22	14
助成金収入	—	139
為替差益	203	—
その他	51	24
営業外収益合計	326	210
営業外費用		
支払利息	83	105
債権売却損	48	—
出向者経費	42	—
休業費用	—	93
為替差損	—	53
その他	35	58
営業外費用合計	210	310
経常利益又は経常損失(△)	1,144	△218
特別利益		
前期損益修正益	41	10
固定資産売却益	11	2
受取保険金	15	96
その他	6	12
特別利益合計	75	122
特別損失		
前期損益修正損	441	16
固定資産売却損	6	—
減損損失	37	—
固定資産除却損	9	—
投資有価証券評価損	—	16
たな卸資産廃棄損	—	24
その他	61	1
特別損失合計	556	58
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	663	△154
法人税等	205	192
少数株主損失(△)	△8	△21
四半期純利益又は四半期純損失(△)	467	△326

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	663	△154
減価償却費	928	803
減損損失	37	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	24
賞与引当金の増減額(△は減少)	4	6
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4	44
受取利息及び受取配当金	△71	△46
支払利息	83	105
為替差損益(△は益)	△118	△10
前期損益修正損益(△は益)	400	5
固定資産売却損益(△は益)	△5	△2
固定資産除却損	9	0
投資有価証券売却損益(△は益)	10	△3
投資有価証券評価損益(△は益)	29	16
受取保険金	△15	△96
補助金収入	—	△139
たな卸資産廃棄損	—	24
雑損失	—	93
売上債権の増減額(△は増加)	△323	△1,372
たな卸資産の増減額(△は増加)	262	51
仕入債務の増減額(△は減少)	70	2,047
その他	△280	△29
小計	1,685	1,367
利息及び配当金の受取額	71	46
利息の支払額	△84	△96
法人税等の支払額	△74	△42
保険金の受取額	15	96
補助金の受取額	—	120
損害賠償金の支払額	△53	△101
その他の支出	—	△105
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,559	1,283
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△1,045	△277
固定資産の売却による収入	105	112
投資有価証券の取得による支出	△561	△22
投資有価証券の売却による収入	44	13
貸付金の回収による収入	2	3
子会社の清算による収入	—	76
定期預金の純増減額(△は増加)	—	87
その他	44	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,409	△27



(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	570	△2,435
長期借入れによる収入	110	3,850
長期借入金の返済による支出	△840	△1,125
社債の償還による支出	—	△140
リース債務の返済による支出	—	△122
自己株式の取得による支出	△772	△3
配当金の支払額	△261	△244
少数株主への配当金の支払額	△1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,195	△221
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34	13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,080	1,047
現金及び現金同等物の期首残高	4,524	3,812
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	172	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,616	4,860

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	電子部品事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	23,696	1,386	25,083	—	25,083
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	203	203	(203)	—
計	23,696	1,590	25,286	(203)	25,083
営業利益	1,426	119	1,545	(517)	1,027

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	電子部品事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	16,001	790	16,792	—	16,792
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	115	115	(115)	—
計	16,001	906	16,908	(115)	16,792
営業利益（又は営業損失）	371	(66)	304	(422)	(118)

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	18,906	6,046	130	25,083	—	25,083
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,569	1,442	3	4,015	(4,015)	—
計	21,475	7,489	133	29,098	(4,015)	25,083
営業利益 (又は営業損失)	1,503	80	(10)	1,574	(546)	1,027

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	12,858	3,814	120	16,792	—	16,792
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,300	1,079	—	3,380	(3,380)	—
計	15,159	4,893	120	20,173	(3,380)	16,792
営業利益 (又は営業損失)	510	(115)	(26)	367	(485)	(118)

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高（百万円）	7,028	961	333	8,323
II 連結売上高（百万円）				25,083
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	28.0	3.8	1.4	33.2

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高（百万円）	5,749	324	219	6,293
II 連結売上高（百万円）				16,792
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	34.2	1.9	1.4	37.5

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額に、前連結会計年度末に比して著しい変動は認められません。